

緑区はどんなまち?

緑区の地域特性と災害リスク

一般的に、丘陵地では土砂災害のリスクが高く、河川沿いの 平野では洪水などの浸水被害のリスクが高まります。

緑区の丘陵地は、北部に鳴子丘陵、南部に有松丘陵がありま す。主な河川として、区を東西に横断する扇川、南区との境にあ る天白川、区の南部を流れる大高川があります。

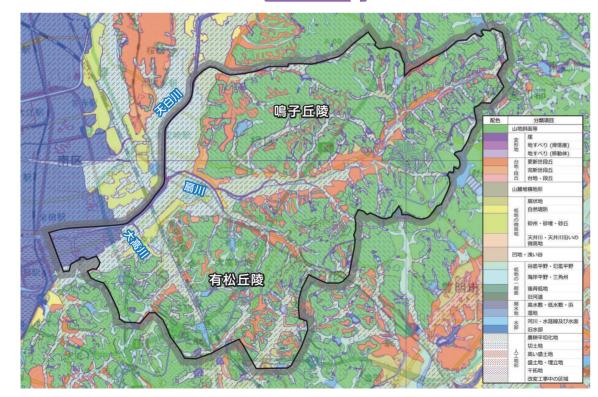
このように、緑区には丘陵地と河川の両方が存在するので、 注意すべき災害が場所により大きく異なります。

ハザードマップをご覧いただき、自分が住む地域の災害リス クを確認しましょう。

ハザードマップで 危険な場所を確認し、 避難経路を家族で 話し合っておこう。



土地条件図



出典:国土地理院 土地条件図に加筆

繰り返し起きる災害 緑区の災害の歴史を 覚えておこう!



2 緑区の災害の歴史



◯ [風水害]



[地震]

西暦	年号	緑区に被害を及ぼした主な災害
1767	明和4年7月	天白川の氾濫で大高と鳴海に洪水が発生し込高で5名が犠牲
1853	嘉永6年	伊勢・四日市に大地震があり瑞泉寺堂宇大破し修理
1854	安政元年11月	安政東海地震・安政南海地震 鳴海辺りでも天白川の堤が破損し被害あり。当時、東海道五十三次40番 目の宿場であった鳴海宿内の旅籠屋も地震により破損した
1889	明治22年9月	台風による暴風で大高西の田面と塩田・込高新田面潮入で死者が7名発生
1891	明治24年10月	根尾谷断層震源濃尾地震で鳴海・大高・有松に全壊の家屋の他、鳴海で井戸水が1~2m以上増水しあふれ、瑞泉寺庫裡・書院など傾く
1912	大正元年9月	台風による暴風雨で扇川が決壊し鳴海町に家屋流出や床上浸水など大き
		な被害、大高では長寿寺山門と氷上姉子神社庁屋倒壊
1944	昭和19年12月	東南海地震で鳴海・有松に被害、大高の春江院山門が倒れる
1945	昭和20年1月	三河地震で鳴海・大高・有松に被害
1959	昭和34年9月	伊勢湾台風により大高・鳴海・有松で甚大な被害。鳴海八幡社本殿倒壊 有松小学校北校舎倒壊
1971	昭和46年8月	台風23号により緑区に災害救助法適用
1982	昭和57年8月	台風10号の大雨で鳴海町字前之輪の急傾斜地崩壊危険区域でがけ崩れ が発生
1987	昭和62年9月	大雨により床上浸水25戸、床下浸水251戸の被害
1990	平成2年9月	集中豪雨により前之輪でがけ崩れが発生
1991	平成3年9月	台風18号の大雨で扇川と大高川の流域を中心に溢水し、床上・床下浸水 が多数発生
2000	平成12年9月	東海豪雨により鳴海・浦里・緑の3学区約9,000世帯に避難勧告が出された。区内では床上浸水834戸、床下浸水826戸の被害があり、土砂災害により1名が犠牲

出典:災害記録から学ぶ「緑区災害の歴史」